



生きた日本語を学び、

th

日本語で世界を広げよう

愛知淑徳大学・留学生別科

30周年記念誌

30th Anniversary Congratulatory Messages

相互理解と共存のために



島田 修三 愛知淑徳大学学長

留学生別科は1992(平成4)年4月に開設、本年度4月をもって30周年という記念すべき区切りを迎えることになりました。この30年間に45カ国から570名を超える留学生を受け入れて来ました。大半の学生が所定のプログラムを修了、日本語活用能力はもちろんのこと、それにとמוなう個々の豊かな留学の成果を母国に持ち帰ってくれたことに深い感慨を覚えます。

留学生別科の修業年限は1年、決して余裕のある長い学修期間とはいえないかも知れません。しかし、別科に入学希望の学生たちの多くは日本に強い関心があると同時に、日本語活用能力もまったくゼロという例は少ないようです。ですから、短期間であっても入学時の語学力に応じたきめ細かい少人数授業によって、さらに確かな向上の日々を送れるわけです。また大学キャンパスや国際交流会館などにおける日本人教師、レジデント・アシスタント、一般学生らとの交流により、日常生活上の日本の生活文化や慣習を学び、また、われわれ日本人そして他国の留学生仲間に自国固有の文化、慣習を伝えてくれているのです。

留学生別科の存在は、まさに本学の理念「違いをともに生きる」の実践と共有の役割を果たして来てくれたといえます。現在、ウクライナでは市民を巻き込んだ残酷な戦闘状態が続いています。留学生別科は、こうした異国間の無理解や争いを避け、ねんごろな相互理解と共存を実現するためのささやかな「いしずえ」ともなっている、と私は信じてやみません。

留学生別科と国際交流

福本 明子 国際交流センター長



本学留学生別科の開設30周年、おめでとうございます。ゼロから開設準備をされ、長きに亘り留学生別科の発展にご尽力いただいた前主任・阿部美枝子先生、新カリキュラムの作成やオンライン授業でコロナ禍を乗り切って下さった現主任・山本裕子先生、両主任を支えてこられた留学生別科の先生と国際交流センターのスタッフのみなさん。多くの方々のコミットメントにより、バトンが引き継がれ、記念すべき30周年を迎えることができました。

私と留学生別科との関わりは、約18年前に授業「異文化コミュニケーション」を担当したことから始まりました。その授業で出てきた事例を、学部の授業で紹介してきました。全学英語運営委員会が外部資金を獲得した際、学部生と別科生が共にバスに乗って工場見学に出かけたこともありました。アイハウスで学部生と別科生が多くのイベントを通じて交流をしてきました。このように、留学生別科の存在が、学部生の学びと体験を豊かにし、国際交流の機会を提供しています。有難うございます。

今後の留学生別科の益々の発展を願いつつ、国際交流センターのスタッフ一同が次の40、50周年を目指し支えてまいります。

留学生別科開設30周年を祝って

山本 裕子 留学生別科主任



愛知淑徳大学留学生別科が開設30周年を迎えました。このような記念すべき年に、留学生別科の教育に携わることができ、大変光栄に思います。

本学の留学生別科は小規模ながら良い学生に恵まれ、楽しくやりがいを持って毎日過ごしています。協定校からの交換留學生が中心である本学別科において、継続して良い学生を受け入れることができているのは、30年間常に質の高い、良い教育を提供してきたからにほかなりません。私は2020年4月から留学生別科主任の職に就きましたので、別科の長い歴史の端っこにぶら下がっているだけですが、さまざまな場面で、これまでの良い連鎖を感じます。永きに亘り、別科を引っ張ってこられた前主任の阿部先生をはじめ、多くの先生方、関係者の皆さまに改めて感謝を申し上げるとともに、これからの別科の歴史を紡いでいく責任を感じます。

語学力の向上は一朝一夕にはいかず、継続してコツコツ学ぶことが不可欠です。刺激や誘惑の多い現代において、学期中、ずっと授業に集中させることはなかなか難しいことですが、時代に合わせて持てるものを活用し、より良い授業を届けられるようこれからも一層努力を続けていきたいと思っています。

留学生別科30周年に寄せて

阿部 美枝子 前 留学生別科主任



1992年9月に最初の2名の学生を迎え入れてから30年の月日が経ったことに深い感慨を覚えます。30年の歴史のうち2019年9月に現在の星が丘キャンパスに移るまでの27年は長久手キャンパスでの日々になります。その間、日本留学熱を反映して時には30人の定員に5倍余の応募が続いた年もあれば、提携校の増加に合わせて13カ国もの国からの学生が入学し実に国際色豊かな年もありました。様々な文化、習慣、風習を持つ多様な留學生たちは学習への向き合い方、日常生活の送り方、コミュニケーションの取り方、どれを取ってもそれぞれに独特なものがあり、それらに向きあう教師、スタッフにとって毎日が実に変化に富んだもので30年を経た今も巣立っていった留學生たちの顔や声と共にそれらの日々が蘇ります。

2019年9月からは新しく星が丘キャンパスに移り、その体制もカリキュラムも変わり新生別科として新たな歩みを始められています。次の10年、20年と新しい歴史を築いていかれることを願ってやみません。

Photo Gallery

写真で見る 留学生別科







Photo Gallery

写真で見る 留学生別科



Student Voice

修了生からのメッセージ



Johannes Scherling

オーストリア

2002年秋季期入学 - 2003年春季期修了



張 佳妮

中国

2006年秋季期入学 - 2007年秋季期修了



2002-2003

2006-2007

愛知淑徳大学留学生別科30周年、おめでとうございます。僕が別科に通っていた2002年から既に20年が経つと思うと、あの当時は10周年だったはずですね。日本に行くことが決まった時、初めての長期海外滞在で、色んな不安も多く、うまくやっていけるか心配でした。しかし、ついた瞬間から留学生別科の国際交流センターの方々に温かく歓迎されて、全てのことを細かく気長にガイドされてすぐ安心できました。大学に通うたびに国際交流センターによると、皆さんがいつも笑顔で迎えてくれたので、学校に行くことさえ初めて楽しい出来事を感じました。

2002年の9月に日本語のレベルが本当は日本語Ⅱでひらがなやカタカナを書ける程度だったのに、日本語Ⅱのコースがなくて、日本語Ⅲに入れられて焦りました。他の学生の日本語が僕よりずっと優れていてついていけないのではないかと不安でした。それなのに、新しく来ていた留学生の代表でスピーチもしなくてはならなかったのです。いまだにその時に写真を見ると、あの時に感じた恥をそのまま感じてしまうのです。でもそこから、別科の先生方がみんな心広く気も長く教えてくれたおかげで2003年の卒業の時はなんと日本語Ⅴのコースまでパスできました。

日本語の授業以外にも書道や文化や華道など様々な興味深い授業も揃っていました。その中で一回なんと、酒工場まで連れていってもらって、そこの優しいおじさんにお酒まで味見で出してもらって、みんなでガンガン飲んだことが面白い思い出の一つです。飲みながら質問時間になると、何かを質問しなきゃと必死に考えて、結局何か思いついて聞いたら、違う人が同じ質問を僕の前でしてみたみたいで、先生に「もうヨハネスさんはお酒十分ですね」と言われてみんな大笑いしてしまいました。こんな楽しい毎日の中で1年間があっという間に過ぎてしまいました。別科の先生方や国際交流センターの人々も含めてとても優しい人に恵まれた上、同僚の留学生たちもすごくいい人柄で、みんなで住んでいたアイハウスはとてもアットホームな楽しい雰囲気だったので、一生忘れることはありません。

これからの次の30年も頑張って、留学生にたくさんのいい思い出を作らせてあげてください。

留学生別科創立30周年おめでとうございます。長きに渡りご尽力いただきました先生方並びに関係者各位には敬意を表すと共に心よりお祝いを申し上げます。

留学生別科を卒業して早15年が過ぎました。国際交流センターの方が空港へ迎えに来られ、アイハウスへ向かう道すがら、意気衝天の感があったことを覚えています。思い起こせば留学期を送る上で私の周りには、いつも優しく信頼できる人達がいてくれました。勉強も教えてくれて今でも感謝の念は堪えることはありません。

別科のクラスでは、さまざまな国の留学生たちと学んだ日々が思い出されます。言語や文化が違う人たちが、日本語を共通語にして生活するという不思議な体験の中で次第に心を通わせることができました。出された課題に図書館と一緒に取組むこともありました。共に学んだ一年半は、かけがえのない宝物です。数多い大学の中から留学先を愛知淑徳大学に決めたことは、とても幸運でした。

修学旅行は京都、翌年は奈良と行先を変えて古都を巡ることができました。奈良公園で鹿に追い回されて怖かった思い出が、今では笑みがこぼれる懐かしい思い出となりました。

留学生の皆さんには素晴らしい環境の中で知識と経験を積んでいただくことを願います。益々のご発展を心からお祈り申し上げます。



2007-2008



Kieran Alexander

オーストラリア

2007年秋季期入学 - 2008年春季期修了



2007年度の留学生オーストラリアから来ましたアレクサンダー・キーランです。留学生別科のお陰で卒業してから15年経って今でも名古屋に住んでいます。

留学経験の一年間を振り返ってみると、一番頭に浮かぶことの一つはアイハウスのダイニングで開催していた誕生日会です。アイハウス各メンバーの誕生日になると、必ずディナーパーティーをみんなでしました。アイハウスのみんなはもちろん、愛知淑徳大学の日本人の友達も毎回参加して、国際的な大イベントでした。

準備は忙しいです。買い物をしに行って、ケーキを注文して、飾りをつけて、そしてみんなとキッチンで料理を作る賑やかさ。準備ができて、各国の手作りの料理と各国の飲み物、お酒でテーブルがいっぱいに。

料理が美味しくて、いろんな国の食事文化、飲む文化、誕生日を祝う文化をおいしく楽しく経験ができました。そして会話は全部日本語で。最初はコミュニケーションが難しかったですが、留学の一年が経ったらみんなの上達を感じられました。

こうした楽しい環境の中で勉強することはモチベーションにもなったし、実際に留学生別科で学んだ日本語の使い道の一つにもなったし、みんながより仲良くなっていくことが、とても大事でした。そして大切な思い出になっています。

留学生別科創立30周年おめでとうございます!そしてこれからの留学生達、楽しんで学んでください!



2008-2009



Ari Yashar

イスラエル

2008年秋季期入学 - 2009年春季期修了



留学生別科創立30周年おめでとうございます!
2008-2009年度に別科に参加した者として、どれほど貴重なプログラムか誰よりもよく知っていると思います。

僕の場合は既に日本で留学した経験があったのに、勉強がまだ足りないと痛感していたため、また留学しようと決心しました。愛知淑徳大学留学生別科に辿り着いたら、プログラムの待遇から非常に良い印象を受けました。

優しい先生達と一对一の時間が多くて、スタッフがいつも面倒を見て下さって、そして寮の管理もばっちりでした。お陰様でちゃんと日本語を身に付けるだけにとどまらず、書道など様々な興味深い授業をとったり楽しい遠足をしたりすることも出来ました。

その中で他の留学生達と日本人の大学生達と一緒に仁崎海水浴場と白谷海浜公園に旅行しようと決めて、僕が旅の計画を担当することになりました。恥ずかしながらバス停を間違えたせいで荷物を持ちながら結構歩く目にも遭いましたが、皆で楽しい思い出を作れて、一緒に日本を直接に体験したと感じます。別科がなければこういう大事な経験は全部不可能でした。

別科の皆さんに改めて感謝致します。そしてこれからもずっと頑張ってください!



2008-2012



陳 雪冰

中国
2008年秋季期入学 - 2009年春季期修了



別科30周年おめでとうございます!

大好きな別科がどんどん発展しているのを誇りに思います。

私は2008年に別科に入りましたが、充実していた別科生活をいつも思い出します。別科では日本語だけではなく、華道、茶道などの日本文化も沢山経験しました。別科旅行で、京都にも行きました。日本文化に浸って、本当に言語と文化の「没入型勉強」になっています。すごく魅力的なコースだと思います。

別科の先生達は最高です。別科で初めて、私の人生にとって非常に重要な先生、阿部美枝子先生と出会いました。先生は学生のため、個人向けのクリニックを毎週されていました。そこで、学生一人一人の生活についての悩みと日本語勉強に困ることを指導されていました。阿部先生のお陰で、私は新しい人生のチャプターに入りました。恩師に誠に感謝の気持ちをいつまでも持っています。

別科の時、同じ別科にいるジョッシュ君と出会いました。私たちはもう結婚して、子供2人を育てています。別科は私たちにとって、母校だけではなく、運命の出会う所でした。

別科はこれからも相変わらず母校でいてください!在校生の皆様も色々な挑戦と経験をしてください!



2011-2012



金 ヘウォン

韓国
2011年秋季期入学 - 2012年春季期修了



創立30周年、本当におめでとうございます。私が留学した年からもう10年が経ちました。時間がたつのが早すぎます。

私の留学生活は暖かい春の日差しのように笑顔でいられる思い出がいっぱいです。

色々な国から来た友達と一緒に生活しながら、私と違う文化を学び、お互いに頼りながら過ごすことができました。

すべてが大切な思い出ですが、最も記憶に残るのはみんなで修学旅行に行ったことです。

奈良公園で鹿に餌を与えて帰ろうとした時、ずっと追ってくる鹿のせいで怖くて涙を流してみんなで爆笑したこともありました。

また先生たちをアイハウスに招待して自分の国の料理を作って皆で一緒に食べたのも楽しかったです。

日本語だけではなく、すべてを私たちに心から教えてくださった先生の方々に感謝しております。10年が過ぎた今でも、「あの時、留学に行ってよかったな」と思います。

地球の反対側にいて一生一度も会えない友達に留学を通して会えたし、今でも連絡を取っている友達がいてとても幸せです。私にとって留学時代は疲れた日常の中から一度ずつ取り出してみることが出来る休憩のようなことです。

愛知淑徳大学留学生別科はこれからも50周年、100周年続けてください。本当にありがとうございました。



Student Voice

修了生からのメッセージ

2018-2019



Timo Eichhöfer

ドイツ

2018年秋季期入学 - 2019年春季期修了



アニメやマンガを通して日本に惚れて以来、何時か日本で働きたいという願望を心の片隅に抱えて来ました。2018年～2019年の間一年間日本に留学が出来たことで夢の一つが叶いました。愛知淑徳大学で日本人のおもてなしを知り、色々な興味深い出会いがあったからこそ、日本で働きたい願望が着々と確信へ変わりました。

おかげで2022年ドイツの大学を卒業して就活に挑んだ時、真っ先に日本の会社に応募しました。コロナ禍がまだ終わっていない中で普段より時間はかかりましたが、結局自分に合っている会社を見つけ2022年7月に再び日本に引っ越して来ました。運の気まぐれによって名古屋の近くに出張に行く機会があり、昔自分が暮らしていたアイハウスを訪問し今の留学生世代と留学時に友達になった管理人さんに会えました。

日本の扉が半分閉まっている状況にも関わらず、コロナ過に負けずに世界のあちこちから日本に憧れる学生を呼び寄せて彼らの夢を叶え続けて下さっていることを深謝しています！

日本に生活拠点が出来た私にも既に家族や友達の中から日本に行きたがっている人が並んでいます。今度は自分が全力を尽くし彼らの夢を叶えてあげたいです。



2021-



Camryn Washington

アメリカ合衆国

2021年秋季期入学・在学中



私は2022年の4月にアメリカのミシガンから日本に来ました。4月に愛知淑徳大学の留学生として日本に来ましたが、入学したのは2021年の9月です。9月から今年の4月に日本に来るまでは、オンラインで留学生別科の日本語の授業を受けていました。

留学生別科は今年で30周年です。その30年間の中の一年間で私は留学生別科の学生として愛知淑徳大学で勉強しています。この一年間でいろいろな素敵な思い出を作ることができました。先学期の終わりのイベントで強く感じた気持ち、留学生と先生方はここまで来るために一緒に大変頑張ってきました。愛知淑徳大学の留学生別科プログラムのおかげで非常にいいコミュニティを作ることができました。困ったことがあったら私たちは出来るだけお互いに支え合っています。すごく嬉しい思い出になりました。

そして、留学生別科のプログラムのおかげで私は特別な国際交流ができて、アカデミックの機会も広がって、先生方の応援で日本語も上達できました。例えば、私は初めて日本人の大学生と日本の大学の授業を受けることができました。そして、いろいろな国から来た留学生と仲良くなりました。30年間、愛知淑徳大学はこのような経験を留学生に提供してきました。留学生の立場から将来の留学生も愛知淑徳大学で同じような経験ができることはとてもいいことだと思います。30周年おめでとうございます。



Overview

留学生別科 概要

生きた日本語を学び、

愛知淑徳大学留学生別科は「生きた日本語」を学ぶための場として、1992年の開設から様々な国・地域から留学生を迎えてきました。個々のニーズに可能な限り対応するきめ細やかな授業だけでなく、実践や体験を重視した日本文化科目、また日本人学生と共修できる授業も多く取り入れています。

留学生別科のあゆみ



日本語で世界を広げよう

数字でみる留学生別科

●定員 **30**人 ●開設 **1992**年 ●交流協定校 **20**か国・地域 **43**大学
(交換留学を行なっている大学数。2022年12月1日現在)

●学生総数 (のべ在籍学生数) **576**人(正規生) **13**人(聴講生)

●学生の出身国・地域 **45**か国・地域

●学生数 上位10カ国地域

中国	238人
韓国	101人
英国	34人
アメリカ合衆国	34人
オーストラリア	25人
ドイツ	22人
台湾	21人
オーストリア	16人
香港	14人
チェコ	7人

ヨーロッパ

- アイルランド ●トルコ
- イタリア ●ノルウェー
- ウクライナ ●フィンランド
- ウズベキスタン ●フランス
- オーストリア ●ブルガリア
- スイス ●ベルギー
- スロバキア ●ポーランド
- スロベニア ●リトアニア
- チェコ ●ロシア
- ドイツ ●英国

アジア

- インド
- インドネシア
- スリランカ
- タイ
- 日本
- ネパール
- バングラデシュ
- フィリピン
- ベトナム
- 香港
- マレーシア
- ミャンマー
- モンゴル
- 英国(香港)
- 韓国
- 台湾
- 中国

アフリカ

- ナイジェリア

オセアニア

- オーストラリア

●修了学生数 **466**人 ●認定学生数 **47**人

プログラム概要

愛知淑徳大学の留学生別科には、レベルに応じた日本語を学ぶ日本語科目と、実践や体験を重視した日本文化科目があります。カリキュラムの一部に学部科目を組み込み、日本人学生と共修できる機会も設定されています。日本語科目は「日本語Ⅰ」から「日本語Ⅵ」まで6レベルのクラスがあります。四技能を総合的に伸ばせるように、レベルに応じて様々な科目が設けられています。生きた日本語を学び、実践的な力を身につけることができます。

●学年暦
 留学生別科は9月に始まり、翌年8月に終わる1年間のプログラムです。交流協定校からの交換留学生に限り、春学期からの入学を認めています。

■ 編集後記・謝辞

愛知淑徳大学留学生別科開設30周年記念誌を発行するにあたり、学生の名簿や写真を見直していると、記憶の奥にしまわれていた留学当時の学生たちの声や日々のちょっとした出来事が思い出されます。どの学期の写真を見ても、入学式では少し緊張気味の学生たちが、修了式にははじけるような笑顔で先生や友人と話している様子に変わっています。その変化が、授業や学生寮での生活、課外活動を通じて、学生たちが自分の日本語に自信を得た証のようで、嬉しくも誇らしい気持ちになりました。

編集にあたり、留学生別科での思い出を懐かしく温かい文章で綴ってくれた修了生のみなさま、また原稿執筆ならびに写真選定にご協力いただいた教職員の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

最後になりますが、留学生別科で優しく、時に厳しく日本語・日本文化の指導にあたってくださった歴代の先生方に改めて心より感謝申し上げます、編集後記とさせていただきます。

2023年3月 愛知淑徳大学 国際交流センター

■ 留学生別科科目担当教員の皆様(五十音順・敬称略)

相場 康子	青木 紀恵	阿部 美枝子	石橋 善弘	伊藤 直樹
稲熊 美保	魚住 友子	梅田 敏文	太田 浩司	梶川 しのぶ
加藤 理恵	菊岡 由夏	國信 潤子	黒野 敦子	小林 久恵
近藤 真澄	真田 幸光	志藤 礼子	下 絵津子	JOLLY James A
末次 新市	杉本 和子	杉山 純子	鈴木 菊代	鈴木 かおり
高澤 直美	高橋 直美	田畑 理咲	知念 滋子	土本 せつ
都築 鉄平	富田 哲	豊田 早苗	中林 律子	半井 尚美
名嶋 義直	野口 逸美	野中 陽子	間 育恵	早野 香代
日置 陽子	ブイ チトルン	福本 明子	藤井 正志	舟橋 宏代
堀田 峰紫子	堀内 千恵子	本間 妙	前田 ひとみ	McDANIEL Edwin R
松崎 成子	松本 一子	松本 久美子	宮田 Susanne	三和 義秀
村田 千乃	村主 千賀	森下 允之	MOLDEN Danny T	
矢野 俊喜	山本 裕子	米勢 治子		

愛知淑徳大学留学生別科30周年記念誌

発行日 2023年3月1日
編集 愛知淑徳大学国際交流センター
発行 愛知淑徳大学
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
TEL (052) 781-1151 (代)
印刷 株式会社荒川印刷



愛知淑徳大学留学生別科ホームページ



愛知淑徳大学 留学生別科